

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術における術後尿失禁に関する研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

当科では 2013 年 3 月からロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を開始し、2022 年 8 月までに 1500 例を経験しました。手術を受ける患者さんにとりまして、手術後の日常生活の質を最も左右するのは尿禁制(尿失禁がないこと)です。この研究は、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後の尿禁制達成状況の検証を目的としています。

ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術後の診療記録から尿失禁量を収集します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2013 年 3 月～2014 年 6 月および 2022 年 1 月～8 月に当院でロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘術を受けた方

使用する試料・情報

年齢、基礎疾患の有無、血液検査情報、手術情報、尿失禁量など

研究予定期間

研究実施許可日～2023 年 9 月 30 日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 泌尿器科 渡邊紳一郎

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 泌尿器科 渡邊紳一郎

住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)